

【クラブ活動報告】

”子ども囲碁フェスタ・堺”からプロ棋士誕生

堺北ロータリークラブ
広報委員長 池田 茂雄

当クラブでは2011年11月27日(日)を第1回目とした「子ども囲碁フェスタ・堺」を、当クラブ主催で毎年1回開催しております。この活動は、堺市教育委員会・堺市子ども会育成協議会・日本棋院・堺商工会議所の後援により、成長盛りの小学生を対象に囲碁の活動を通して、日本の伝統文化である囲碁に子どもたちが触れてもらえたらと企画したものです。「囲碁を知らなくてもだいじょうぶ、みんなで囲碁を楽しもう、参加費は無料です」を合言葉に、堺市広報への掲載や、堺市内各区役所など公共機関へのポスターの掲示、それに当クラブホームページによる呼び掛けなどで、現在では堺市内を初め大阪周辺地区にも知れわたり、参加小学生に父兄など同伴者を含め毎回百数十名の参加者があり、当クラブの定着した行事となっております。

今年で10年目を迎えることが出来たこの行事ですが、現在までに上級クラスである名人戦Aクラスに参加して下さった当時の小学生の皆さん延べ百数十名の中で、現在、3名の方が関西棋院プロ棋士として活躍されていることが分かったのです。第1回目参加者で名人戦Aクラス出場「優勝者 田中康湧君」、同「準優勝者 辻篤仁君」、第2回目参加者で名人戦Aクラス出場「優勝者 渡辺寛大君」、共に当時小学4年生のこの3名が、難関を乗り越えて、いずれも15歳、16歳の時に見事「プロ棋士」になられたのです。



(真剣な対局風景)



(父兄など同伴者を含め満員の開会式風景)

折からの第46期棋聖戦対局を見ていて、この3人が先輩プロ棋士皆さんと肩を並べて対局されているのを見てびっくりいたしました。当時、対局風景を見ていて、もしかして、この中からプロ棋士が生まれるのではないかとの思いがありましたので、それが現実のものとなり驚くと同時に、当クラブとして光栄なことだと大変嬉しく思っております。当クラブとしては嬉しいことに時を同じくして関係者の方から、その節は貴重な機会を与えて頂いたことに感謝しております。おかげ様で息子は囲碁プロ棋士として人生を楽しく頑張っております。あの時頂いた賞状がとても記念になり大切に飾っております。ありがとうございましたとのメールを頂きました。当クラブにとっては、このことが今後の活動をする上で、大きな励みになっております。今後、益々のご活躍を祈念しております。頑張ってください。

このところ、新型コロナウイルスの影響で行事が開催出来ない状態が続いておりますが、一日も早い収束を願っており、行事が再会できる日を楽しみにしております。